

# 一般質問通告書

平成24年3月定例会

## 1番 河野 朋子 議員

### 1 合併特例債事業について

#### (1) 給食センター建設について

ア 3月議会に予算計上されなかった理由

イ 今後の具体的なスケジュール

#### (2) 埴生小中連携校建設について

ア 3月議会に予算計上されなかった理由

イ 今後の具体的なスケジュール

#### (3) 合併特例債期限延長について

### 2 図書館について

#### (1) 中央図書館について

ア 民間館長登用についての評価

イ 今後の方針

#### (2) 学校図書館について

ア 合併後の図書購入費の推移

イ 学校図書支援員の活用

## 2番 河崎 平男 議員

### 1 山陽地区公共施設再編プロジェクト会議の進捗状況について

(1) 昨年から老朽化した公共施設の再編について、検討されているが、平成24年度施策方針で「市民が主役のまちづくり」の施策では公共施設再編事業について進めておられるが、基本構想などについてどの程度進捗しているか、これからのスケジュールなどについてお聞きしたい。

(2) そうしたなか、空家空地公共施設等の有効活用についてお聞きしたい。

ア 糸根公園旧山陽振興事務所、糸根住宅跡地、吉田地住宅、山陽清掃工場、旧厚狭警察署跡地、青年の家宿泊棟、プール、旧厚狭図書館（民俗資料館）、古川住宅など

イ 糸根公園施設と青年の家周辺施設の整備をして総合的な施設利用ができないか。グラウンド、体育館、天文館、糸根の松原、ため池、民間農業総合拠点施設との官民一体の連携により、この周辺を総合的な

管理運営ができないか。

ウ 空家公共施設旧厚狭図書館（民俗資料館）の活用について、社会教育施設として以前民俗資料館として利用されていたが、またこれからの管理運営はどうするのか。

## 2 機構改革と地域の特色について

(1) 農業振興地域面積も広い山陽地域に農政専門部署の設置はできないか。山陽総合事務所に本市の農業委員会（農地転用、農地調査、農地相談など）がありますが、農業部門と一体化（連携）が図られ効率的な事業が図られるのではないか。

(2) また、地域の事業に合った権限（事務分掌）や財源（予算配分）や人材（人事異動）により効率的な地域活性化ができないか。

## 3 専門職員の採用について

(1) 人が輝く心豊かなまちづくりの実現に向けて、このたび山陽小野田市文化振興ビジョンが検討委員会の委員の皆さまにより素案ができました。本市の宝である文化や文化財が数多く存在しているが、一度そのものが消失すると、二度と再生できません。このビジョンを推進するに当たり専門部署や専門職員の採用についての考えはあるか。

## 3番 石田清廉 議員

1 本市の小・中連携校施設一体型建て替え事業の進捗状況について問う。

(1) 厚陽小・中施設一体型建て替え事業は小規模校同士の適正規模としての児童生徒数の確保を考慮した物であり、地域住民にとっても地域活性化の核になるものとの大きな期待がされての事業であるがその目的を達するものであるか。

(2) 一体校としての敷地面積、設備面において生徒の体格差等配慮されたものか、施設内外の安全確保は十分か。

(3) 異年齢交流や地域住民との交流可能なスペースは確保されたものか。

(4) 埴生地区小・中施設一体化事業の取り組みはどのような状況か、この事業の目的と意義は保護者を初め地域住民に対し十分な説明がなされているか。

(5) 何よりも子供たちにとっての教育面の効果が問われる。その上で学校環境、通学路、通学距離などの問題解決には市長部局からの説明が必要であるが実情はどうか。

(6) 小学校跡地の有効活用は地域の活性化につながるものであることが期待されている。慎重にかつ速急に事業の策定が求められる今後のスケジュールを問う。

2 地域の活性化、雇用の創出、定住人口の促進にもつながる6次産業化への本市の取り組みはどのようなものか。

(1) H23.3月農林漁業者などによる新事業創出及び農水産物の利用促進に関する法律6次産業法が施行された。農漁村現場は過疎化と高齢化が急激に進み担い手不足が深刻な問題となっているこの状況を打開するために6次産業化が国、県の重要な政策課題として認識されている。本市の取り組みはどのような状況か。

(2) 事業の構想段階から認定までの支援に加え農林業者に対するフォローアップや国の支援制度の情報提供はどのようにされているのか。

(3) 生産者と消費者との間に加工、販売、流通、さらに観光産業にまでつながる、すなわち1次、2次、3次産業連携の6次産業を創出して農水産生産者としての付加価値を高めTPP問題対策にもなる。さらに雇用の場、定住人口促進にもつながる、今後一層の行政支援政策が求められるが、このことについて市としての見解を問う。

#### 4番 小野 泰 議員

##### 1 新病院建設について

(1) 診療科目14科は妥当か。

(2) 新病院の特徴は

(3) 医師の確保について

(4) 地域医療ネットワークシステムの構築について

(5) 関係課・係による院内での業務について

(6) 防災対策について

(7) 災害時等の緊急用車両乗り入れ対策は

(8) 患者の快適性と環境に配慮した最高級の新病院を目指すとは

##### 2 住民情報等の確保対策について

災害時におけるマシン室の安全対策は

##### 3 グループ制導入について

その後の検討結果について問う。

#### 5番 伊藤 武 議員

##### 1 津波対策について

(1) 予定新病院建設場所は避難場所か。

(2) その他の避難箇所指定は

(3) 一時避難箇所建設は

(4) 小学校区別の避難箇所、避難経路図作成を

2 JR美祿線・小野田線の活性化について

- (1) JR両線利用促進協議会の現状は
- (2) JR両線利用促進協議会の会員選考は
- (3) 新幹線と一体化した交流利用者増加策は

3 安心安全な連絡網について

- (1) 拡大エリアメールの取り組みは
- (2) 先進的な防府市の現状について調査されたか。

4 市有地の管理状況について

- (1) 市民病院は
- (2) 市役所は
- (3) その他の箇所は

6番 岩本信子 議員

1 学校図書館について

- (1) 図書館活用教育についてどう考えているのか。
- (2) 図書支援員の活用についてどう考えているのか。
- (3) 各校・公共図書館との連携及び交流についての考えはあるか。

2 学校給食について

- (1) 給食センター建設説明会での保護者の反応はどうか。
- (2) 説明会の資料は1センターを進めるために偏っていると考えるがどうか。
- (3) 1センターで設計調査して、できないと判断すれば2センターも検討するという説明があったが、検討された事業計画は安易過ぎないか。
- (4) 食育について教育委員会の見解と取り組みはどうか。
- (5) 給食センター建設について、議会に請願書と署名がきているが、このことはどう考えるのか。

7番 伊藤 実 議員

1 庁議について

- (1) 最高決定機関であるのか。
- (2) 情報公開の現状は

2 当市の将来推計について

- (1) 今後10年間の主な事業計画と概算予算は
- (2) 市立病院建設による他の公共施設整備計画への影響は
- (3) 合併特例債期限延長の可能性をどのように考えているのか。
- (4) 消費税が5%UPされた場合の一般会計の影響額は

3 市立病院建設について

- (1) 基本計画の医師数は何人なのか。
- (2) 新病院の方向性はあるのか。
- (3) 新病院建設すれば、24時間365日救急医療はできるのか。

8番 中村博行 議員

1 高齢者支援の実情と対策について

- (1) 交通事故防止対策について
- (2) 振り込め詐欺対策について
- (3) 独居支援について

2 生活保護制度について

- (1) 受給者世帯の推移と実態について
- (2) 調査・審査と支援体制について
- (3) 制度の問題点について

3 防災について

- (1) 24年度予算における防災対策について
- (2) 小規模工事申請の実情について
- (3) 農地・水・環境保全対策と施設長寿命化対策事業について

9番 下瀬俊夫 議員

1 施政方針について問う。

- (1) 白井市政2期目最終年度の予算だが、「まちづくり」の具体的方向性が見えないのはなぜか。
- (2) 合併特例債活用による大型事業も、「老朽化した社会資本の整備」だけで理念が感じられないのはなぜか。
- (3) 「市民が主役のまちづくり」なのに、山陽地区公共施設再編事業になぜ地区住民の意見集約と参画の仕組みをつくらないのか。
- (4) 市長の施政方針であり、まず市長が答弁に立つべきではないか。

2 公共交通網の整備について問う。

- (1) 新幹線厚狭駅を拠点とした公共交通網の構想と整備をどう考えているか。
- (2) 厚狭北部地域のバス路線整備は地域住民のニーズを踏まえた具体的な対応策を

3 独居のお年寄りへの電話入れについて

- 市長、副市長による独居のお年寄りへの電話入れは再検討の必要があるのではないか。

10番 衛藤弘光 議員

1 文化振興ビジョンについて

- (1) 皿山の里の構想はどうなったか。
- (2) 三好邸付近の整備はできないか。
- (3) 市民ギャラリーは民間だよりか。

2 姉妹都市の秩父市と住吉まつりについて

- (1) 秩父市との交流はどうなっているのか。
- (2) 住吉まつりに招待できないか。

3 新ごみ焼却場の建設について

- (1) 現設備を長くもたせるため、可燃ごみの出し方について市民に現状を話し、協力をお願いができないのか。
- (2) 工場の建設は公営ですとのことだが、設備は長く維持できるのか。
- (3) 建設から事業管理までの専門的知識を持った技術課等の設置は考えていないのか。

11番 中島好人 議員

1 「社会保障・税一体改革」について

- (1) 消費税率引き上げ分の地方配分について
- (2) 販売価格に転嫁できない中小企業への対応について

2 「中小企業振興基本条例」の制定について

3 「公契約条例」の制定について

4 「子ども・子育て新システム」について

- (1) 市町村の保育実施義務を削除し、子供の「保育を受ける権利」の保障を放棄することになるがどうか。

5 悲惨な孤独死、餓死をつくり出させない取り組みについて

- (1) ライフライン事業者と市福祉部局との連携について
- (2) 生活保護行政の改善について

12番 山田伸幸 議員

1 学校給食センター化問題で明らかになった教育委員会の姿勢について

- (1) 教育委員会の自校方式への評価について
- (2) 教育委員はなぜ市民の意見を直接聞こうとしなかったのか。
- (3) 教育委員会事務局の市民への説明内容を教育委員は把握していたのか。

2 新ごみ焼却施設整備事業は将来の環境都市像を見据えてのものか。

- (1) 生ごみの堆肥化について

- (2) 市民の協力による循環型社会形成の推進について
- 3 社会保障と市民の負担について
  - (1) 介護保険料、国民健康保険料の市民負担の大きさについての市長の認識について
  - (2) 市民負担軽減に向けた市の取り組み方について
- 4 天然記念物の指定について
  - (1) 天然記念物に対する認識について

### 1 3 番 平 原 廉 清 議員

- 1 大地震と津波対策について
  - (1) 海岸の津波・防潮対策の堤防の整備状況について
    - ア 現時点での想定津波高さより低い堤防の延長ないしは箇所数は
    - イ 堤防の耐震化工事の要否箇所は調査済みであるか。
  - (2) 当市の漁港や海岸部にある陸こうの数は49箇所あるが、万一の緊急時の閉鎖はどのようになされているのか。
  - (3) 地震・津波と台風・豪雨とでは、防災対策は異なると考えるが、先の大震災・津波を踏まえ、地震・津波対策のソフト面の整備は着手しているのか、現状を問う。
- 2 学校給食共同調理場建設について
  - (1) 給食問題の検討開始はいつからか。
  - (2) 学校長、PTA、保護者、給食調理員への説明開始はいつからか。
  - (3) 自校方式でメリットと言われる事項は、共同調理場方式では実現できないのか。
  - (4) アレルギー対策、地産地消、ほかほか給食、おいしい給食など、共同調理場で十分対応できるという確信はあるのか。
  - (5) 2センター方式にしたらどうか。また2センターでは建設費は幾らくらい必要なのか。
  - (6) この問題は住民投票にかけてもよいと考える。市長にはそうしようという考えはないか。

### 1 4 番 吉 永 美 子 議員

- 1 防災について
  - (1) 防災における女性の視点の活用について
    - ア 「地域防災計画改定版」を策定するに当たり、女性の防災会議委員登用の考えを聞く。
    - イ 現在パブコメ募集中の「男女共同参画プラン改定版」には、「防災分

野における女性の参画の推進」「被災現場における男女共同参画」とあるが、どのように女性の視点を生かしていくのか。

ウ 「防災基本条例」を制定する際、女性の視点をどう活用するのか、考えを聞く。

(2) 共助の力を強めるため、自主防災組織のネットワークづくりをすべきではないか。

2 被災地の支援について

東日本大震災の被災地への支援について、現況と今後の予定について聞く。

3 管理職手当の復元について

市長の考えを聞く。

4 斎場の統合更新について

合併特例債の活用事業として斎場を統合し、新設していただくよう提言してきたが、現在の検討状況を聞く。

5 給食共同調理場建設について

(1) 民業圧迫にはならないか。

(2) ランニングコストの減額分を教育費に活用する考えはあるか。

6 動物愛護について

犬猫の避妊・去勢の助成制度のための基金の創設を提案する。

7 プロポーザル契約について

審査のマニュアルはあるのか。